

1. 野党 2. 公聴会 3. 压力团体 4. 与党

1. 三角形の中に点がある記号は「広葉樹林」を指し、等高線の間隔が広い平地によく見られる。

2. 丸の中に×印が描かれた記号は「茶畑」を指し、広大で平坦な台地の上によく見られる。

3. 三角形の中に点がある記号は「針葉樹林」を指し、等高線の密度が高い急斜面によく見られる。

4. 丸の中に×印が描かれた記号は「果樹園」を指し、台地縁辺の谷などの傾斜地によく見られる。

1. 南南問題 2. 南北問題 3. 累積債務問題 4. 地域格差問題

1. 高度技術製品 2. 生活必需品 3. 三種の神器 4. 新三種の神器（3C）

1. 日露協商 2. 日英同盟 3. 日清修好条規 4. 日米和親条約

1. 累進課税制度を強化することによって所得の再分配を行い、不況下における国民間の格差を是正する。
2. 減税を実施して家計の消費を促し、公共事業を増やして仕事を作り出すことで、社会全体の需要を増やす。
3. 増税を実施して政府の財源を確保し、公共事業を削減することで市場の過熱を抑え、物価の安定を図る。
4. 日本銀行が国債を買い入れることで世の中に出回る通貨の量を増やし、企業が資金を借りやすくする。

1. 欧米列強による植民地化を防ぐため、近代的な産業を育成して経済力を高め、軍事力の強化を支える必要があったから。

2. 地租改正によって農民の負担が軽減されたため、余った労働力をすべて工業生産に振り向け、農業から工業への完全な転換を狙ったから。

3. 土族授産の一環として、秩禄処分によって収入を失った武士全員に官営工場の経営権を譲渡するための方策だったから。

4. 文明開化によって国民の生活様式が変化し、洋服やパンなどの西洋製品をすべて国内で自給自足しなければならなかったから。

1. 兵役 2. 公事 3. 夫役 4. 雜徭

1. 朝廷の許しを得ないまま調印し、神奈川（横浜）や長崎などの5港を開港して自由貿易を認めたが、日本側に不利な不平等条約であった。	2. 外国の商人が日本で罪を犯した際に日本の法律で裁く権利を確保したが、輸入品にかかる関税の決定権を失う内容であった。	3. 開国による混乱を防ぐために井伊直弼が朝廷から正式な許可を得て調印し、国内の物価を安定させるための関税自主権を確立した。	4. ペリーの来航を受けて締結され、下田と箱館の2港を開港するとともに、アメリカ側に最恵国待遇を認めないことを条件とした。
---	---	--	---

1. 東京オリンピック 2. 沖縄海洋博覧会 3. 日本万国博覧会 4. 札幌冬季オリンピック

1. 食料の輸入額を意図的に増やすことで、国内の一次産品の価格を吊り上げ、輸出利益を最大化するため。
2. 工業製品の輸入を制限することで、国内の農家や鉱山労働者の利益を強制的に保護し、所得格差をなくするため。
3. 自国の天然資源をすべて国内で消費し、外国との貿易を完全に停止することで自給自足体制を確立するため。
4. 一次産品の国際価格の暴落によって、輸入に必要な外貨が不足し、経済が停滞するリスクを解消するため。

1. 室町時代に活動した倭寇が、西アジアから中国沿岸部まで届いた工芸品を略奪し、東大寺などの寺院に寄進した。
2. 江戸時代初期に幕府から許可を受けた朱印船が、ペルシヤ湾付近まで直接航海してガラス細工などの貴重な品を輸入した。
3. 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。
4. 安土桃山時代に始まった南蛮貿易において、ヨーロッパの商人がシルクロードを陸路で通り、西アジアの特産品を日本に伝えた。

1. 成田国際空港 2. 神戸港 3. 名古屋港 4. 東京国際空港

答え合わせ・解説

問1	答え 4 与党	議会制民主主義をとる国々では、国民の代表である議員が所属する政党を中心に政治が行われます。その中で、行政権を持つ内閣の構成員（大臣など）を出し、予算や法律の案を作成して国政を運営する責任を負うのがこの立場です。一方、政権を問わずに政府の監視や批判を行う政党は野党と呼ばれます。
問2	答え 4 丸の中に×印が描かれた記号は「果樹園」を指し、台地縁辺の谷などの傾斜地によく見られる。	「丸の中に×」の記号は果樹園を表します。果樹園は、静岡県牧之原台地などの事例に見られるように、台地の脇にある谷状の地形や斜面地によく配置されます。茶畑は点がついた記号で表され、牧之原では台地上の広い範囲に分布しています。樹木の記号については、広葉樹は「入」のような形、針葉樹は「↑」のような形で表されるため、三角形の記号（三角点）とは異なります。
問3	答え 1 南南問題	発展途上国（南）という枠組みの中で、急速に成長した国々と、開発が停滞している後発開発途上国との間に新たな格差が生じた現象を指します。これにより、単に「北」と「南」に分けるだけでは国際社会の現状を正確に把握できなくなっており、より細かな支援の形が求められています。
問4	答え 3 三種の神器	一九五〇年代後半、技術革新を背景に日本経済が飛躍的に発展する中で、人々の生活水準が向上しました。特に白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫の三つは、豊かさの象徴として当時の皇室の宝物にちなみ「三種の神器」と呼ばれ、爆発的に普及しました。
問5	答え 2 日英同盟	19世紀末から20世紀初頭にかけて、ロシアはシベリア鉄道の敷設などを通じて東アジアへの進出（南下政策）を強めていました。これに対し、中国（清）における自国の利権を守りたいイギリスと、朝鮮半島や満州での安全保障を確保したい日本の利害が一致し、1902年に日英同盟が結ばれました。この同盟は、当時の日本にとって国際的な地位を高める画期的な出来事となりました。
問6	答え 2 減税を実施して家計の消費を促し、公共事業を増やして仕事を作り出すことで、社会全体の需要を増やす。	不況のときには、世の中の買い手（需要）が不足しているため、政府が「減税」によって人々の購買力を高めたり、「公共事業」によって直接的な仕事を発注したりすることで、景気を上向かせようとします。これによって企業の売上が伸び、雇用が守られるという循環を目指します。「増税」や「公共事業の削減」は、景気が良すぎる（インフレ傾向）ときに抑制のために行われる策です。また、日本銀行による通貨量の調節は「金融政策」であり、政府が行う財政政策とは区別されます。
問7	答え 1 欧米列強による植民地化を防ぐため、近代的な産業を育成して経済力を高め、軍事力の強化を支える必要があったから。	明治政府が掲げた「富国強兵」という目標において、「富国」を達成するための具体的な手段が「殖産興業」でした。経済的な基盤がなければ強力な軍隊を持つことも、不平等条約の改正を求めることもできないと考えたため、政府が率先して資本を投じ、西洋の技術を導入して資本主義体制の確立を急ぎました。
問8	答え 1 兵役	農民には「租・庸・調」以外にも、年間60日を限度として地方官庁で働く「雑徭」や、国家の防衛を担う「兵役」が課せられていました。兵役の中でも、特に九州の警備にあたる「防人（さきもり）」は、東国から徴募されることが多く、食料や武器を自前で用意しなければならなかったため、農民の生活を著しく圧迫する要因となりました。
問9	答え 1 朝廷の許しを得ないまま調印し、神奈川（横浜）や長崎などの5港を開港して自由貿易を認めたが、日本側に不利な不平等条約であった。	大老の井伊直弼は、1858年に天皇の許し（勅許）を得ないまま「日米修好通商条約」を結びました。この条約では、先に結ばれた日米和親条約の2港に加え、新たに神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港が決められ、商売を目的とした自由貿易が始まりました。しかし、日本に領事裁判権（治外法権）がなく、関税自主権も欠いているという点で、日本にとって非常に不利な不平等条約であったことが特徴です。
問10	答え 3 日本万国博覧会	日本は1960年代の高度経済成長を経て、1968年にアメリカに次ぐ国内総生産（GDP）世界第2位の経済大国となりました。その経済的成功と技術力を背景に、1970年に大阪で「人類の進歩と調和」をテーマとした日本万国博覧会（大阪万博）が開催されました。これは、戦後日本の復興と成長を世界に示す象徴的な行事となりました。
問11	答え 4 一次産品の国際価格の暴落によって、輸入に必要な外貨が不足し、経済が停滞するリスクを解消するため。	一次産品は工業製品に比べて付加価値が低く、価格の変動も激しいため、輸出で得られる利益が不安定になりがちです。一方で、近代化に必要な機械類などの輸入には多額の外貨が必要です。輸出価格が暴落すると輸入ができなくなり、国内の経済発展が阻害されるため、開発途上国は工業化を推進して、より利益が安定し、かつ高い付加価値を生む製品を生産・輸出できる体制を目指しています。
問12	答え 3 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。	奈良時代の日本は、唐の先進的な文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐は西アジアとも交流を持つ国際的な帝国であり、シルクロードを通じてペルシャなどの産物が流入していました。日本に伝わったこれらの産物は、東大寺の正倉院に保管され、現在も当時の国際交流の様子を伝えています。選沢肢にある倭寇や朱印船、南蛮貿易は、奈良時代よりも後の時代の出来事であり、シルクロードを介した唐との交流とは異なります。
問13	答え 1 成田国際空港	日本の貿易統計において、成田国際空港は輸出額よりも輸入額の方が大きいという顕著な特徴を持っています。これは、スマートフォンなどの電子機器、IC（集積回路）、医薬品といった、軽量かつ高価で、迅速な輸送が求められる製品の輸入拠点として重要な役割を担っているためです。一方、名古屋港などは自動車輸出の影響で輸出額が輸入額を大きく上回る傾向があります。